

令和2年度			
講習の区分	<選択領域講習>受講者が任意に選択して受講する領域	講習時間数	6時間
講習の名称	【選択】小中学校における英語教育に必要な知識と技能～異文化理解・英語発音・英語表現～	講習形態	講義
開設者	長崎県立大学	定員	40名
開設日/時間	令和2年8月8日(土) / 9:55～17:30	会場	長崎県立大学 佐世保校 新館2階 505教室(佐世保市)
履修認定対象職種	教諭	主な受講対象者	小学校・中学校(英語)教諭
担当教員(講習代表者) / Eメールアドレス/TEL 担当教員： 山崎 祐一(地域創造学部) / yamasaki@sun.ac.jp / 0956-47-2191			
担当教員(分担担当者等)			
講習のねらい/講習方法/講習到達目標 講習のねらい： 子どもたちが外国語を学ぶ大きな目的のひとつは、異文化圏の人々と円滑にコミュニケーションを実現するための能力を向上させることである。本講習では、英語教育における異文化理解、音声指導、非言語コミュニケーションの重要性について考察する。 講習方法： 分野別に2時間ずつ講習し、各20分間の筆記試験を行う。 講習到達目標： ①外国語教育と異文化理解の関連について理解する。 ②英語と日本語の発音を比較しながら、英語の子音・母音、音の連結・脱落等のスキルを身につける。 ③非言語メッセージの文化的個性について学び、その重要性について理解する。			
講習内容(概要) / 講習計画(時間毎の講習内容を含む) / キーワード 講習内容(概要)： 英語でのコミュニケーションにおける異文化理解の大切さ、英語の発音のポイント、そして非言語コミュニケーションの方法やルールに関して、英語圏文化と日本文化を比較しながら講習を進める。英語学習において学習者が興味を持てる要素とはどういうものなのかを異文化理解に関連づけながら考える。外国語の発音の習得は異質な音を知り、それらを認めることから始まるという点においては、異文化の認知や容認にも深い関係があるということを踏まえ、特に標準アメリカ英語を基準に、英語の発音について具体例を挙げながら再確認する。 講習計画・内容：			
	内容等	時間	担当教員
	オリエンテーション	9:55～10:00(5分)	山崎 祐一
	講義①「英語教育と異文化理解」 (休憩10分+筆記試験20分を含む)	10:00～12:10	山崎 祐一
	昼休憩	12:10～13:00	
	講義②「英語教育における音声指導の有用性」(休憩10分+筆記試験20分を含む)	13:00～15:10	山崎 祐一
	講義③「異文化コミュニケーションと非言語メッセージ」(休憩10分+筆記試験20分を含む)	15:20～17:30	山崎 祐一
キーワード： (異文化間コミュニケーション、異文化理解) (英語発音法) (非言語コミュニケーション)			
成績評価の方法	成績評価は、試験の成績や講習中の課題への取り組み等から総合的に判断します。		
成績評価の基準	成績評価は、到達目標達成点を100点とし、総合点で60点以上を合格とします。		
履修認定の方法	成績評価の総合点で合格点に達した受講者に対して履修認定します。		
教科書・教材・参考書	【参考文献】 『先生のための 授業で1番よく使う英会話』(Jリサーチ出版、2017年) 『先生のための 授業で1番大切な英語発音』(Jリサーチ出版、2019年) 『ゼロからスタート英会話～英語の気くばり・マナーがわかる編～』(Jリサーチ出版、2019年)		
各自で準備するもの	特に必要ありません。		
受講上の注意	1. 令和元年度に実施した「【選択】異文化間コミュニケーションを視野に入れた英語教育(外国語活動)」と一部内容が同じ講習ですので、当該講習を受講した者は、本講習を受講することはできません。 2. 視聴障害や聴覚障害などのため、受講に際して特別な配慮が必要な方は、受講申込前に事務局へお問合せ下さい。 3. 遅刻は原則として認めません。		